

教育たんば

令和3年度

3月号



もくじ

■表紙 雪の中を登校する小学生

「郷土の現代日本画展 親子の系譜」のご案内	1
青垣いきものふれあいの里 活動報告	2
地域から考える学びの未来会議	3・4
社会教育委員にゆーす／	
丹波市教育委員会公式 LINE 友だち登録をお願いします！	5
ご家庭におけるインターネット環境の整備をお願いします！／	
学校給食費納付のお願い	6
もっとひろがれ！本の森～丹波市立図書館☆トピックス～	7

「郷土の現代日本画展 親子の系譜」

〈併催〉「丹阿弥丹波子展 メゾチントからうかぶモノ」

会期：令和4年4月9日（土）～5月5日（木・祝） 会場：丹波市立植野記念美術館

丹波市からは、数多くの美術作家たちが生まれており、それぞれが自身の得意とする分野で活動されています。今回は、丹波市ゆかりの作家のうち、親子二代で日本画家として活動した、常岡文亀・常岡幹彦、山本茂斗・中尾英武、二組の作家父子を取り上げて展覧会を開催します。植野記念美術館所蔵作品や丹波市内の施設で所蔵されている作品から、親子の系譜をたどります。

また併催展として、メゾチント技法を得意とする銅版画家・丹阿弥丹波子の作品を展示します。父・丹阿彌岩吉は日本画家であり、父と同じ画家としての道を進んだ丹波ゆかりの作家として、当館所蔵作品を紹介いたします。



山本茂斗 藤《展望台》
1965年頃



中尾英武《薄暮》
2014年



丹阿弥丹波子《ばら '03》2003年

〈開館時間〉10:00～17:00（入館は16:30まで）

〈休館日〉月曜日

〈入館料〉一般310円、大学・高校生210円、小・中学生100円

※20名以上の団体割引あり、ココロカード利用可、小学生未満は無料

園 植野記念美術館 TEL：82-5945 FAX：82-5935

赤ちゃんからの美術鑑賞ツアー



「赤い花がさいているね」

「雨がふっているね」

植野記念美術館では、展覧会ごとに「赤ちゃんからの美術鑑賞ツアー」を開催しています。小さなお子様やそのご家族の方にとって過ごしやすい時間となるように、美術館職員やサポートスタッフがお手伝いします。

「何が描かれているかな」「どんな気持ちかな」など、家族でお話ししながら作品を見てみましょう。美術館がはじめての方も、そうでない方も、ぜひご参加下さい！

日時：令和4年4月22日（金）

10:00～11:00（9:50より受付開始）

会場：植野記念美術館

2階研修室及び3・4階展示室

対象：0～6才の未就学児とその保護者

定員：5組 申込：電話予約（Tel：82-5945）

※参加費無料（別途観覧料が必要）

※マスクの着用や手指の消毒など、新型コロナウイルス対策へのご協力をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染拡大状況等により変更または中止となる場合がございますので、ご了承ください。

青垣いきものふれあいの里 活動報告

青垣いきものふれあいの里とは？

青垣いきものふれあいの里は、私たちの身近に生息する動物、植物、昆虫などとのふれあいを通じて人々が自然に親しみ、自然への理解を深め、環境保全の重要性を考える施設として、平成7年に開設しました。施設の中核となるビジターセンターでは、ホトケドジョウやオヤニラミなど淡水魚や、植物と生活のかかわり、身近な野鳥や地形のジオラマを展示しています。また兵庫県特有の地形である氷上回廊や四季ごとの植物も紹介しています。

令和3年度に行ったこと

- (1) 企画展……「春の山野草展」、「淡水魚と水辺の生き物展」、「むし・虫・蟲展」など
- (2) 観察会……「青垣・山垣 春の自然観察会」、「梅雨の自然観察会」、「河原探険」「夏の星座観察会」など
- (3) 出前事業…小学校、自治会、子ども会等への水生生物調査など
- (4) 調査・保全活動…全国一斉水環境調査
- (5) その他……トライやる・ウィーク、インターンシップの受入れ



青垣いきものふれあいの里 外観

令和3年度新たに取り組んだこと



常設展示

(1) 兵庫県立氷上西高等学校との連携

県立氷上西高校の2年生9人が所属する「水族館班」が「総合的な探究の時間」の授業として、青垣いきものふれあいの里と連携しながら、青垣町内の川に生息する淡水魚や水生生物などを採取し、飼育方法などを学びながら展示する水族館づくりを進めました。

- ① 水族館展示
- ② 昆虫標本づくり
- ③ 保全活動

(2) 県立人と自然の博物館との連携

人と自然の博物館の移動博物館「ゆめはく」事業において、生きた昆虫を展示し解説を行いました。

(3) 丹波市地域おこし協力隊との連携

令和4年度に認定こども園向けの自然体験プログラムを、丹波市地域おこし協力隊と連携し出前事業として実施予定です。

〈開園時間〉 9：00～17：00 〈休園日〉 月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始

園 青垣いきものふれあいの里

〒669-3833 丹波市青垣町山垣2115番地6

TEL：0795-88-0888

ミラカイメンバー
からメッセージ

ミラカイでは、様々な方々との『つながりづくり・仲間づくり・学び合いづくり』を意識して活動をしています。それは持続可能なまちにしていくなためにとても重要な事だと思えます。

みんなが学び合える機会になればいいなと思います。また、学び合いを意識して活動していく中で丹波市という“里”に、それぞれが大切にしたい学びを還すことができれば、次世代に『つながりづくり・仲間づくり・学び合いづくり』を繋いでいけるのではないかと思います。

ゆるやかに楽しく、みんなが仲間だと思える、学び合いの輪が広がる事を願い、来年度も進んでいこうとしています。コロナ禍で予測困難な状況の中、手探りで企画会議を行っています。一緒にワイワイ言いながら、“新たな学びの場づくり”を行ってみませんか？

丹波市が幸福感に溢れ、人々が生き生きと生活できるまちであり続ける事を願い、ミラカイの一員として活動していきたいと思えます。

コアメンバー 松本 佳則



こんな場所があればいいな

私たちにできること
やってみたいこと

未来の担い手

来年度以降の予定

「地域から考える学びの未来会議」は年間3回を予定しています。

子どもたち、自分自身の学びを楽しく続けるためには…
みんなで一緒に考えてみませんか

【活動例】

- ・勉強会、ワークショップ
- ・市内の学びのマップづくり
- ・地域で学びを支える人材リストの作成
- ・GIGAスクール等のテーマ別学習会など

コミュニティ

できる人が、
できるときに、
無理なく、楽しく！

地域から考える 学びの 未来会議

略して
ミラカイ

地域協働

趣旨

丹波市の教育をみんなで考える新たな学びの場として「地域から考える学びの未来会議」を立ち上げ、大人も子供も楽しく学べるまちをめざします。



今までの取組経過

平成29年11月25日

地域とともにある学校づくり推進フォーラム

講師：文部科学省参事官 木村 直人氏

平成31年1月27日

地域とともにある学校づくりに向けて

講師：CSマイスター 四柳 千夏子氏

平成31年2月1日

未来につなぐまちづくり・人づくりを考える講演会

講師：株式会社ノースプロダクション
近江 正隆氏

令和元年7月6日

地域とともにある学校づくり推進フォーラム

講師：文部科学省専門職 西 祐樹氏

令和3年3月27日

学校と地域でつくる学びの未来を考える勉強会

講師：CSマイスター 岸 裕司氏

令和3年4月24日

第1回地域から考える学びの未来会議

講師：CSマイスター 大谷 裕美子氏

新たな 学びの場

地域住民と一緒に学校づくり

丹波市社会教育委員
橋本崇史・松本佳則

「コミュニティ・スクール」って聞かれたことはありませんか。学校運営協議会を中心に住民の声を積極的に生かし、地域と一体になって特色ある学校づくりを進める取組です。

橋本委員は青垣小・中学校、松本委員は南小学校の各学校運営協議会で、地域の一員として活動されています。「住民参加型の学校教育」と橋本委員が言われるとおり、そこは子どもたちと住民が一緒になって学び合う場であり、子どもたちは決して学校のものではなく、地域みんなの宝物なのです。

松本委員は、「学校の為にするものではありません。子どもたちに関わると大人たちもみんな笑顔になります。」と。大きくなった時、ここで育って良かったと思える人を増やしたいものです。皆さんもまずはオープンスクールなどに参加してみましょう。

(文章：丹波市社会教育委員の会議 議長 荒木伸雄)



▲松本委員(左)・橋本委員(右)



▲図画工作の授業補助をしている様子



▲小学生が松本委員の畑で収穫体験

社会教育委員にゆーす

このコーナーでは各委員を紹介しながら、丹波市の社会教育を考えていきます。

☎ 教育総務課 TEL：70-0810



「丹波市教育委員会」で検索
または、QRコードをスキャン

丹波市教育委員会 公式LINE

友だち登録お願いします！



学校・イベント・図書館・
美術館などの情報を、週
1回ほど発信しています。

丹波市教育委員会からのお願い

ご家庭におけるインターネット環境の整備をお願いします！

令和4年3月末で貸与期間終了！！

丹波市教育委員会では、GIGA スクール構想に基づき、令和2年度に小・中学校に高速通信ネットワークを整備し、1人1台のタブレットを配備しました。

新しい時代に必要となる資質・能力「学びに向かう力」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」の習得をめざし、子どもたちが「自ら考え、主体的に行動できる力」を身につけるために令和3年度から本格的に活用を進めています。

また、既に取り組んでいる学校もありますが、(1人1台)タブレット端末を家庭へ持ち帰り、家庭学習においても積極的な活用を進めていきたいと考えています。この家庭での活用を推進していくためには、各ご家庭でのインターネット環境の整備が必要不可欠です。

現在、臨時的にモバイルルーターを必要な家庭へ貸与しておりますが、**令和4年3月末で貸与期間は終了します。**

各ご家庭におけるインターネット環境整備のご協力をよろしくお願いします。



☎ 学校教育課 TEL : 70-0811

学校給食費納付のお願い

学校給食は、成長期にある児童生徒の健康な身体をはぐくむとともに、児童生徒が、食の大切さや感謝等を学ぶうえでも大きな役割を果たしています。

学校給食で使われる食材は、保護者の皆さまに納付いただいた給食費によって賄われています。給食費を滞納されると、納付いただいている方との公平性が保たれないだけでなく、給食の献立内容にも影響する場合がありますので、口座振替の前には口座残高を確認し、確実な給食費の納付をお願いします。

区分	学校給食費 1食単価	口座振替日
小学校	245円	振替日：翌月の27日 再振替日：翌々月の15日
中学校	275円	※休日の場合は、翌営業日



☎ 学事課 学校給食係
TEL : 70-0880

(給食費の納付が困難な場合はご相談ください。)



もっとひろがれ！本の森

(2021. 文部科学省「子ども読書の日」ポスター・キャッチフレーズ)

～丹波市立図書館☆トピックス～



令和3年度「丹波市子ども司書認定者」堂々誕生！

12月5日、子ども司書養成講座最終回に、「おはなし会」と「子ども司書認定証授与式」が行われました。学んできたことを発揮して、堂々たる「読み聞かせ」ぶりでした。今後も、学校や地域で『読書の楽しさ』や『図書館の面白さ』を伝える「キッズ・ライブラリアン」として、本好き仲間をどんどん増やして欲しいと願います。心から応援しています！



毎月開催♪読み聞かせボランティアグループによる『おはなし会』

子ども司書認定者も、読み聞かせにチャレンジしていますので、ぜひお立ち寄りください！

なお、中央図書館では毎月第3土曜10時30分より、「小学生向けのおはなし会」も開催していますのでお友達と一緒にご参加ください！



ビブリオバトル

～『推し本』アピール合戦！～

12月19日『ビブリオバトル第7回丹波市大会』を開催しました。一人5分間のスピーチで、観覧者に「おもしろそう!」「今すぐ読んでみたい!」とどのくらい思ってもらえるかがポイントです。



令和3年度のチャンプ本決定！

- ◆『パパは女子高生だった』前田 良／著 (明石書店)
- ◆『白銀ジャック』東野 圭吾／著 (実業之日本社)



発表者の皆さんのおかげで、紹介いただいた8冊全ての本に光があたり、本への愛情溢れる楽しいひと時となりました。本当にありがとうございました！

これまでのチャンプ本と今年度の紹介本は、中央図書館で展示・貸し出しておりますので、ぜひ手に取ってみてください。(各分館からも予約できます!)『本を通して人を知る、人を通して本を知る』そんな心豊かなひとときをご家族揃って味わってみませんか？



今年もやります!!
おうちでもよも『福袋』
 4月23日(土)
 丹波市立図書館(全館)にて

年齢別にいろんなジャンルの本を3冊セットにして貸し出します。中身は開けてのお楽しみです。ワクワク感がたまりません♪

4月24日(日)

『大きなおはなし会』を開催します!!

場所：市民プラザ 会議室

時間：午前10:30～

幼児～小学校低学年向けの楽しいおはなしが満載です。